

目指す授業像（本学区では、共通してどんな授業を目指すのか）	
視点1「課題意識の持続」	視点2「達成状況の把握」
学習課題を自分事として考え最後まで学習に取り組むため、児童生徒の必要感や目的意識等が単元を通して持続する授業	児童生徒が、単元で目指す児童生徒の姿（付けるべき資質・能力を身に付けた姿）を明確に共有し、その達成状況について適切な場面と方法で捉え、評価がなされる授業
<p>【現時点での課題（授業者・学習者）】</p> <p>単元課題解決のために、既習事項を生かした見通しをもち、学習に取り組む。</p> <p>授分かりやすい言葉での発問や説明を心がけ、学習者が意欲をもって取り組めるようにする。</p>	<p>【現時点での課題（授業者・学習者）】</p> <p>単元学んだことを振り返りとして端的に文章表現する。</p> <p>授本時で学習したことが振り返ることができるような板書構成をする。</p>

3学年 算数科 単元指導計画		
単元名 小数 主教材： 数の表し方やしくみを調べよう	日 時	令和4年10月27日（木）5時間目
	対象学級	綾織小 3年1組 7名
	授業者	教諭 吉田 奈央
1 単元の目標 (何ができるようになるか)		
〔知識及び技能〕	〔思考力、判断力、表現力等〕	「学びに向かう力、人間性等」
小数の意味や表し方について理解し、加法及び減法の計算ができる。	数学的表現を適切に活用して小数の表し方や仕組み、計算の仕方を整数の十進構造と関連付けて考えることができる。	小数の意味や表し方について振り返り、今後の生活や学習に活用しようとしている。
2 単元で取り上げる「数学的活動」 (何を通して育成するのか)		
(関連：A 数と計算 (5) (イ)) 具体物、図、数、式などを用いて表現し伝え合う活動を通して、小数の意味や表し方、加法及び減法の仕方について理解する。		
3 単元の評価規準 (何が身に付いたか)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
端数部分の大きさを表す際に小数を用いることや、量を測定する単位の構成が十進構造になっていることについて理解し、それらを活用して1/10の位までの小数の加減法の計算をしている。	小数の大きさについて、図や数直線を用いて表したり、0.1の幾つ分かを考えたりして、大きさを比べたり、小数の加減法の計算について考えたりし、小数やその計算が日常生活にも使えることに気付いている。	小数の意味や表し方、大小関係、加減法の計算の仕方について、図や式などの数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、小数も整数と同じ見方ができることに気付く、今後の生活や学習に活用しようとしている。

4 単元のゴール	(どのような力をつけるためにどんなゴールを設定するか)
<ul style="list-style-type: none"> 小数でも、0.1の幾つ分と見ることで整数と同じ見方ができたり、計算したりすることができるということを理解するために、単元導入時に、整数と小数を見比べ、共通点や相違点について話し合い、本単元では「小数の表し方や仕組みを説明し、計算ができるようになる」ことをゴールとして設定する。 	
5 単元の指導と評価の計画 (全12時間)	(単元をどうデザインするか)

別紙 (10・11ページ)

6 本時の目標
<ul style="list-style-type: none"> 小数の筆算の仕方を整数の十進構造と関連付けて考えることができる。

7 「本校の視点」+「遠野中学校区の視点」による本時の授業改善 (どのように学ぶか)	
A 本校の視点1 「算数的表現力の育成」	B 本校の視点2 「家庭学習を生かした学習内容の定着」
<ul style="list-style-type: none"> 学び合いの時間にペア学習を入れ、相手に自分の考えを説明することで、小数の筆算の仕方の理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の振り返り後、一人勉強ノートに本時の類似問題を解く時間を設け、家庭学習への意欲を高めるとともに、定着を図る。
遠野中学校区の視点1「課題意識の持続」	遠野中学校区の視点2「達成状況の把握」
<p>ア 小数の加減法の筆算の方法を理解することがゴールであることを確認する。</p> <p>イ どの児童にも方法の見通しが持てるように既習事項を掲示しておく。</p>	<p>ア 全体で学習したことを基に、適用問題に取り組み達成状況を把握する。</p> <p>イ 「小数の筆算はどのようにすればよいか」という視点で振り返らせる。</p>

8 板書計画等		(学びの可視化をどうデザインするか)
<p>10/27</p> <p>① (1) $2.5 + 1.8$ (2) $4.3 - 1.8$ を筆算しよう。</p> <p>② (1) $3 + 2 = 5$ (2) $4 - 2 = 2$ 〈やり方〉 ・0.1をもとにする。 ・整数の筆算のように位をそろえる。</p>	<p>③ ① 小数の筆算のしかたを考えよう。</p> <p>④</p> $\begin{array}{r} 2.5 \\ + 1.8 \\ \hline 4.3 \\ (2) 4.3 \\ - 1.8 \\ \hline 2.5 \end{array}$ <p>⑤</p> $\begin{array}{r} 45 \\ - 35 \\ \hline 10 \end{array}$ <p>⑥</p> $\begin{array}{r} 45.0 \\ - 35.0 \\ \hline 10.0 \end{array}$ <p>⑦</p> $\begin{array}{r} 45.0 \\ - 35.0 \\ \hline 10.0 \end{array}$	<p>⑧ ① 0.1をもとにして、整数と同じように、位をそろえて書き、下の位から計算する。</p> <p>⑨</p> $\begin{array}{r} 5.0 \\ - 1.4 \\ \hline 3.6 \end{array}$ <p>⑩</p> $\begin{array}{r} 1.2 \\ + 2.8 \\ \hline 4.0 \end{array}$ <p>⑪</p> $\begin{array}{r} 4.2 \\ - 3.5 \\ \hline 0.7 \end{array}$ <p>⑫</p> <p>⑬ ① $5.2 + 3.4$ ⑭ $3.5 + 5$ ⑮ $2.4 - 1.6$</p>

9 本時の展開 (9 / 12)		(本時をどうデザインするか)
	学習活動および学習内容	指導上の留意点
導入 5分	1 前時の学習内容を確認する。 2 問題を把握する。 (1) $2.5 + 1.8$ (2) $4.3 - 1.8$ 3 本時の課題をとらえる。 小数の筆算のしかたを考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> 前時に、本時で扱う小数は数が大きいことから、筆算の必要性があることを取り上げておく。 小数の加減法の筆算の方法を理解することがゴールであることを確認する。 《①ア》
展開 25分	4 見通しをもつ。 <答えの見通し> (1) $3 + 2 = 5$ 5よりは小さい。 (2) $4 - 2 = 2$ 2よりは大きい。 <解決方法の見通し> <ul style="list-style-type: none"> 整数の筆算のように、位を揃えて計算する。 0.1を基にして考える。 5 課題を自力解決する。 <ul style="list-style-type: none"> (1)に取り組み、考え方をノートに記入する。 <期待する児童の考え> <ul style="list-style-type: none"> 0.1を基にすると、2.5は0.1が25こ分、1.8は0.1が18こ分。 $25 + 18 = 43$ 0.1が43こ分で4.3。 位を揃えて、位ごとに計算して求めた。 6 学び合い (1) 全体学習 <ul style="list-style-type: none"> 考えを発表し、筆算の仕方を確認する。 (2)の減法問題に取り組み、筆算の仕方を発表する。 (2) ペア学習 <ul style="list-style-type: none"> $45 - 3.5$の筆算の仕方を友達に説明する。 考えを発表する。 7 学習のまとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> 本時で学んだことを発表する。 0.1をもとにして、整数の筆算と同じように計算する。位をそろえて書き、下の位から順に計算する。 <ul style="list-style-type: none"> 適用問題に取り組む前に、空位や欠位を含む小数の加減法の筆算の問題に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 整数の筆算の仕方を想起させ、位を揃えて計算したことを確認する。 小数も0.1を基にすると整数の筆算と考えられることを確認する。 どの児童にも方法の見通しが持てるように既習事項を掲示しておく。 《①イ》 位をそろえて書く理由を考えさせ、理解を深める。 繰り下がりのある筆算も同様に、上の位からおろしてくればよいことをおさえる。 ペアで小数の筆算の仕方を説明させることで、理解を深める。 《A》 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>《思・判・表》小数の筆算の仕方を整数の十進構造と関連付けて考えている。 (ノート・発表)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 答えの末位の0を省略したり、一の位の0を書いたりすることを確認する。
終末 15分	8 適用問題に取り組む。 9 学習の振り返りをする。 <期待する児童の反応> <ul style="list-style-type: none"> 0.1を基にして、整数の筆算と同じように計算すればよいことが分かりました。 整数の筆算と同じように、位をそろえて計算すればよいことが分かりました。 整数と小数が混ざった計算もできることが分かりました。 ※家庭学習の確認 10 次時の学習の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> 適用問題に取り組み、達成状況を把握する。 《②ア》 「小数の筆算はどのようにすればよいか」という視点で振り返らせる。 《②イ》 一人勉強ノートに残りの適用問題を1問解かせ、家庭学習への意欲を高める。 《B》 次時は、小数のいろいろな見方についての学習であると見通しをもたせる。

